

俳句郡読・構成

鴨下 昭 (正慶岩雄)

六二年目の夏を迎えて！

「広島・長崎の火」を消してはならない

【一】一九四五年（昭和二十年）八月六日・九日、広島・長崎に原爆が投下されました。初めて人類に投下された原爆の惨状は目をおおつばかりでした。

八月九日被爆、二児爆死、四歳、一歳、翌朝発見す。

ことぎれし子をそばに、木も家もなく明けてくる 松尾あつゆき

長男また死す。中学一年生

炎天、子のいまわの水をさがしにい 松尾あつゆき

妻を焼く。八月二十五日

炎天、妻に火をつけて水のむ 松尾あつゆき

ひろしまのどの樹も人の匂いもつ 粥川 青猿

君あの夏「黒い雨」に打たれたか 足立 町子

ダイ・インの地の黙深し原爆忌 草野 善永

起きよ影かの広島石段の 柿本 多映

【二】久間章生前防衛大臣は、「アメリカによる広島・長崎への原爆投下はしょうがない」と発言し辞任しました。小池百合子新防衛大臣は「日本の核武装は国際情勢によっては検討すべきだ」と発言し批判をうけています。被爆国の政府として絶対に許されません。

うつむけばいいのかヒロシマ今日も暑い 中村 重義

原爆忌墓石は翳を重ね合 望月よし江

炎天にうらみの眼あるばかり 名田 靈草

靖国の参拝違憲芽うまし 坪井 輝女

米軍基地全網の影わが影日本の影 青倉 人士

蟻一列昭和が度る靴の音 芦田 穰

駅前・自転車・ぬし屋九条があぶない 漆畑 利男

この俳句郡読は三六首五節に纏められたものです。紙面の関係でそのうち二節だけを掲載し、残りは次号にしました。

戦争と平和を考える特別旬間(8月6日～15日) 続報

< 水戸南 > 戦争と平和を考える

日時：8月4日～8月15日
場所：水戸市立東部図書館2階展(水戸4中近く)
内容：写真パネル「沖縄戦」戦場の人々30枚
絵画パネル「東京大空襲」20枚
1階 水戸空爆のB29関連展示
主催：みとみなみ平和の会

< 下妻 > 平和を希求するパネル展

日時：8月6日～8月13日
場所：市役所ロビー
内容：写真パネル「東京大空襲」25枚
主催：下妻市職員組合

< 常陸太田 > 原爆パネル展

日時：8月14日(火)～19日(日)
AM9:00～Pm5:00
場所：市生涯学習センター展示コーナー
内容：広島・長崎原爆パネル展示
主催：常陸太田平和の会

< 取手 > 2重被爆を観る会と 原水禁報告会

日時：8月18日(土)14:00～16:00
場所：取手福祉交流センター(市役所前)
内容：DVD二重被爆と世界大会報告
共催：取手平和委員会、茨城保険生協他

< 石岡 > 本土決戦と茨城パネル展

日時：8月26日～9月1日
場所：国府地区公民館
内容：パネル「本土決戦と茨城」
主催：石岡平和の会

< 八郷 >

日時：8月27日～9月1日
場所：石岡市中央公民館ロビー
内容：広島・長崎被爆写真展
・こだまふさ子ガラス絵展示
主催：やさし平和の会



平和かわら版

No. 478

月3回発行
2007.8.5

平和新聞茨城版

発行：茨城県平和委員会

〒310-0912 水戸市見川5-127-281

Tel/Fax 029-251-2806

E-mail ibahei@amber.plala.or.jp



